



長野県内議会トップ20公開 飯田市議会が1位
健闘する町村議会 喬木村議会は躍進
「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月22日、2017年度「議会改革度調査」の長野県内ランキング上位を公開しました。

1位の飯田市に伊那市、箕輪町が続きました。議員のなり手不足対策で全国から注目を集める喬木村は400位以上躍進し11位に。トップ20までの4割を町村が占め、小さな自治体が健闘する結果となりました。



▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>

▼長野県内の議会ランキングTOP20

※総合順位の300位以下もしくは前年未回答は「-」と表記。 ※長野県内は42議会が回答（回答率54%）

順位	議会名	総合順位	前年比	順位	議会名	総合順位	前年比
1	飯田市議会	40	-7	11	喬木村議会	181	+404
2	伊那市議会	57	-19	12	大田市議会	210	-52
3	箕輪町議会	60	+17	13	駒ヶ根市議会	215	-6
4	松本市議会	78	+3	14	下諏訪町議会	228	+25
5	軽井沢町議会	86	-17	15	小諸市議会	247	+111
6	佐久市議会	108	+66	16	長野県議会	250	-104
7	長野市議会	130	+23	17	諏訪市議会	-	-
8	塩尻市議会	132	+165	18	安曇野市議会	-	-
9	飯綱町議会	148	-55	19	宮田村議会	-	-
10	南箕輪村議会	178	-3	20	原村議会	-	-

■TOP3 議会、注目議会の特徴

- ・ 1位【飯田市議会】議会による行政評価を実施。議会報告会では、全体会のほかに3常任委員会ごとの分科会で意見交換の場を設け、住民から出た意見を政策につなげる仕組みをつくっている。
- ・ 2位【伊那市議会】市民と議会との意見交換会では、議員のファシリテーター力が向上。事業点検評価特別委員会と地域創生対策特別委員会合同による「地域振興に向けての提言」も取りまとめた。
- ・ 3位【箕輪町議会】「地方創生・人口減少対策等特別委員会」を設置し、RESASを活用した人口分析を実施。地方創生実現に向けた具体施策の対応策などについて調査し、町へ政策提言を行った。
- ・ 注目【喬木村議会】多様な人材が議員になりやすい環境づくりとして、休日・夜間議会の開催、若者世代のグループとの研修・懇談会などを実施している。タブレットを導入しICT化も推進。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。（回答率74%）。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>